

臨床研究に関する情報公開

福井大学医学部附属病院医療安全管理部では、医学系研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、対象に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、お申し出ください。研究期間にご連絡した時点より集計対象から除外することを保証致します。

平成27年10月 福井大学医学部附属病院医療安全管理部

【研究課題名】

医療安全講習会の医療安全管理における有用性に関する研究と臨床応用

【研究期間】

承認日より平成33年3月31日

【研究の意義・目的】

医療法により年 2 回以上の医療安全講習会の受講が義務付けられ、本院においても医療安全講習会が定期的に行われているが、講習会の医療安全管理における有効性に関してまったく検討されていない。医療安全講習会の有効性に関する検証は、今後の講習会を改善していく際に重要なデータを与えるものとする。

医療安全講習会の前後において、講習会の内容が医療現場で有効に生かされているかを検討することを主目的とする。そして、講習会の有効性に関連する因子も含めて検討することにより、講習会の内容、方法を改善していく（臨床応用）。

【研究方法】

対象：講習会の内容によって調査する対象、研究対象者数は異なる。患者の直接的な調査はない。

方法：医療安全講習会の講習内容に関連する診療データを、講習会前後で収集して解析する。解析されたデータは、個人を特定できるものを含まず、病院全体の評価として使用する

想定される研究の具体例

1. インフォームド・コンセントに関する講習会の場合

対象：例えば全身麻酔下手術患者のインフォームド・コンセントを調査する。全身麻酔下手術患者数を 30 例/週と仮定し、講習前の 1 週間、講習後 3 ポイント時で 1 週間、調査すると延べ 120 例のインフォームド・コンセントの記載に関して調査することになる。

方法：全身麻酔下手術患者のインフォームド・コンセントに必要な項目の記載状況を講習会前後で比較検討する。

2. 生体モニターに関する講習会の場合

対象：各病棟の 1 日における生体モニターのアラームへの対応時間を生体モニター

に内蔵されている記録から、講習前、講習後に調査する。モニター装着者を 5 名/病棟と仮定すると病棟全体で 60 例、講習前 1 回、講習後 3 回調査すると延べ 240 例となる。

方法：生体モニターのアラームへの反応時間やアラート関連のオカレンス報告数を講習会前後で比較検討する。

【研究組織】

実施責任者

秋野裕信 医療安全管理部教授

研究分担者

藤井真砂子 医療安全管理部 看護師GRM

寺崎和代 医療安全管理部 看護師GRM

桑原宜美 医療安全管理部 副看護師長

矢野良一 薬剤部 副薬剤部長

宇野美雪 薬剤部 薬剤師GRM

笠川哲也 メディカルサブライセンダー 臨床工学技士

笠松真吾 医学部 技術専門職員

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究は、データのみ扱い、個人情報厳重に保護して行います。なお、本研究や保有する個人情報に関するお問い合わせ等がございましたら、下記へご連絡ください。

○問い合わせ窓口

〒910-1193福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

福井大学医学部附属病院医療安全管理部 秋野裕信

電話：0776-61-3111 E-mail：uroha@u-fukui.ac.jp

○苦情の窓口

〒910-1193福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

福井大学総務部松岡キャンパス総務室学術支援係

電話：0776-61-8614